

令和5年10月22日執行
宮城県議会議員一般選挙

選挙公報

多賀城・七ヶ浜選挙区
宮城県選挙管理委員会

変える今度こそ!

声を聞き、命・生業を大切にする県政へ



藤原

ますえい
日本共産党

審議会の意見も聞かず4病院再編をゴリ押し。住む人を「モノ」のように追い出す県営住宅廃止。村井知事の暴走が際立ちます。「自分を止められるのは県議会だけ」と知事。ならば止める県議会に変えましょう。市民と野党の代表・藤原ますえいを今度こそ、県議会に送り出してください。

●住民にゆびの爪を刺す市議の期300年
くらし・生業を支える1票は藤原へ

被災者の医療費免除をたつた大違い。今また県営住宅をなした2年で打ち切った村井県。くす。弱いものいじめはやめ政。若手県が11年続けたのとよの声を、藤原ますえいへ。

●おかしな「いままの県政」
知事の暴走にノーの1票は藤原へ

意見を聞くために作った審議では変わりません。暴走やめ議会なのにその意見を無視。よ、県民の声を聞け。この思ふで独裁知事。自民党独占。い、今度は藤原ますえいへ。

●「聞く力」なしの岸田政権にお灸を
平和・命・人権を守る1票は藤原へ

インボイスで根こそぎ大増。染水海洋放出、女川原発再稼働、反対の声聞かずマイナ保。働：「いい加減にしろ」の怒険証押し付け、約束反故の汚り、藤原への1票に。

やります

- 県で半分補助し小中学校給食費を無料化
- 高い水道料金引き下げ
- 原谷地川の堤防かさ上げ
- 勿来川遊水地の土砂撤去
- 住み続けられる県営住宅に
- 地域医療の要・4病院を守る
- 海洋放出阻止・漁業を守る

藤原ますえいのお約束

略歴

1956年生まれ。東北学院大学工学部卒。1983年4月から多賀城市議9期36年。議会運営委員長、副議長、党市議団長など歴任。「多賀城歴史歳時記」など著書5冊。留ヶ谷在住。

●事務所 多賀城市伝上山2-10-21
022(363)3080

市民連合推薦!

投票に行きましょう! あなたの1票が政治を変える。 ●期日前投票ができます。10/14(土)~21(日)



渡辺あつし

わたなべ
自由民主党推薦
六七歳

多賀城、七ヶ浜に新しい風を吹かせよう!

ビジョン

多賀城市の都市の利便性や歴史が香る文化と七ヶ浜町の海を中心とした自然と国際性を連携し、都市の快適性と癒しの空間が共存する持続可能なまちづくりを展開し、「子育て住環境満足度日本一」を目指します。

〈渡辺あつしの政策〉

- 自然と人間との共存共生による地域活性化
陸上養殖や高付加価値の農産物の栽培等の6次産業化を促進します。
- 次世代・再生可能エネルギーを導入します。
- 交流人口の拡大、魅力ある地域環境の創出に努めます。
- 大規模化・多様化する災害に備えた安全安心な故郷づくり
- ハード、ソフト施策を合わせた重層的な被害低減対策を進めます。
- 漁港施設の機能強化対策や航路浚渫を推進。
- 急傾斜崩壊防止施設、地すべり防止施設等の整備。
- 社会全体で支える子育て環境の充実
- 公民館、集会所、図書館等を活用した親子が安心できる「第三の居場所づくり」に努めます。
- 多様化する社会に適應できる力を育むインクルーシブな保育・教育の推進に努めます。
- 子供たちの通学路の整備を拡充します。
- 持続可能な医療・介護サービスの提供
- 地域包括支援システム(保健・医療・福祉)の強化。
- 遠隔診療や薬局からのお薬の郵送など、DXの医療への活用を促進します。
- 運動機能を含めたメディカルチック対象者を拡充。
- 文化芸術とスポーツを通じた地域参加や生涯を通じた芸術活動や健康づくりにより、地域力の向上に努めます。
- 人口減少社会に対応するため、文化・スポーツ施設の地域一体的な施設利用を検討します。

プロフィール
 昭和31年3月 七ヶ浜町葛蒲田生まれ
 昭和43年3月 七ヶ浜町立松ヶ浜小学校卒業
 昭和49年3月 私立東北学院中学校・高等学校卒業
 昭和53年3月 私立東北学院大学経済学部卒業
 昭和53年4月 建設コンサルタント アジア航測株式会社入社
 平成23年9月 七ヶ浜町議会議員 初当選、当選3回
 現職 ●宮城県森林インストラクター協会 監査役 ●保護司

多賀城市 確かな経験、行動力! 七ヶ浜町

に於いては

- 震災復興に努力いたします、砂押川・七北田川・貞山運河改修に努めます。
- 山王駅エレベーター・エスカレーターの設置に努めます。
- 道の駅の設置に努めます。

しっかりと実感できる震災復興に努めます

安心して、暮らせる社会をつくりま

農林水産業の振興に努めます

格差社会を是正して再チャレンジのできる環境を整備します

子どもたちが、健全に成長できる教育環境の整備に努めます

特老ホームやショートステイを充実した福祉型社会を実現します

- 震災復興完遂に努めます。
- 教育及び福祉の充実に努めます。
- 急傾斜地の危険解消と海岸線の保全整備に努めます。
- 第一次産業振興、海苔養殖・農業振興



にった和広

にった
かずひろ

にった和広プロフィール
 昭和25年9月12日 七ヶ浜町生まれ
 仙台第二高等学校卒業
 宮城県議会議員(8期)
 現職 宮城県障がい者福祉調査特別委員会委員長
 環境生活保健福祉
 元職 宮城県議会水産政策研究会会長
 農林水産産業振興審議会委員
 財団法人宮城県企業振興協会幹事
 宮城県漁業協同組合連合会理事
 宮城県予算特別委員会委員長
 宮城県決算特別委員会委員長

令和5年10月22日執行
宮城県議会議員一般選挙

選挙公報

多賀城・七ヶ浜選挙区
宮城県選挙管理委員会

情熱と信頼!!宮城に活力を!!



伏谷 修一
プロフィール

- 昭和37年(1962年)12月22日生まれ(60歳)
- 多賀城市立多賀城小学校卒業
- 東北学院中・高等学校卒業
- 東北学院大学経済学部経済学科卒業
- 前多賀城市議会議員
- 多賀城市議会議員4期(H19~R3)
- 自由民主党多賀城市支部長
- 公益社団法人塩竈青年会議所
- TG会多賀城 副支部長
- 多賀城市体育協会 副会長
- 多賀城市バレーボール協会会長
- 多賀城市PTA連合会 元会長
- 多賀城市立多賀城小学校 元PTA会長
- 八幡花園幼稚園保護者会会長
- 多賀城市消防団第五分団 元分団長
- TAP多賀城 初代代表
- 宮城県私立幼稚園PTA連合会副会長

持続可能な社会を実現するために、誰一人取り残されることなく社会に参加する意味と意義を見出せることが大切なことであり、ワクワクし続ける県土を形成していく考えに変わりはありません。

次の時代を担う子どもたちをはじめ、人生100年時代を生きる県民一人ひとりが、幸せを実感できる宮城の実現のために行動して参ります。

つなげる未来へ
多賀城・七ヶ浜!
愛するふるさとと宮城のために

地域経済の活性化

- 物価高騰の緩和対策(電気・ガス・ガソリン・食料)
- 地域資源を活用した観光産業の振興

地域に活力

- DX先進県
(多賀城・七ヶ浜が進めているデジタル技術活用「政策推進」)
- デジタル人材の育成
(医療・健康・介護・教育・防災などの分野でのGX・DXを推進)

こどもは国の宝

- 子育てしやすい環境の整備
(妊娠・出産から就学前まで、多賀城事例を宮城全体へ)
- 子供たちの国語・英語教育の充実に取り組みます

人生100年時代へ(県民の健康づくりを)

- 健康な高齢者を育む口腔ケアの推進
- 病気の予防・健康寿命の延伸するための医療提供体制の整備を進めます

文化・芸術・スポーツを要に

交流人口の増加へ

- 多賀城・七ヶ浜の歴史・文化・海を生かしたまちづくり
- 多賀城創建1300年事業と
- ブルーフラッグビーチ富浦田を世界へ発信
- アフターコロナのインバウンド事業
- 「おかぜトレイル」の周知、宮城オルレ「多賀城・七ヶ浜」を6番目のルートに新設



10月22日(日)は、 宮城県議会議員一般選挙の 投票日です。

- ◎投票日当日、投票ができないときは、期日前投票または不在者投票をしましょう。(10月21日(土)まで)
- ◎投票所の入場券が届いていない場合やなくしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。

宮城県議会議員一般選挙については、
宮城県選挙管理委員会ホームページをご覧ください。

宮城県議会議員一般選挙特設サイト



宮城県選挙管理委員会 検索

宮城県選挙管理委員会 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県庁内